

## ■ 著者紹介

辻村 みよ子 (Tsujiyura Miyoko)

東北大学大学院法学研究科教授

東京生まれ。広島大学付属高等学校・一橋大学法学部卒，同大学院博士課程単位修得後，一橋大学助手，成城大学助教授・教授を経て，現職。併せて東北大学ディスティングイッシュト・プロフェッサー，グローバルCOE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」拠点リーダー。日本学術会議会員，男女共同参画会議員，日本公法学会理事，ジェンダー法学会理事長等を務める。専門は，憲法学・比較憲法・ジェンダー法学（法学博士）。

### 主な著書

『フランス革命の憲法原理』（日本評論社，1989年），『「権利」としての選挙権』（勁草書房，1989年），『人権の普遍性と歴史性』（創文社，1992年），『女性と人権』（日本評論社，1997年），『市民主権の可能性』（有信堂，2002年），*Egalité des sexes : la discrimination positive en question* (La Société de Législation Comparée, 2006, dir. avec D. Lochak), 『憲法（第3版）』（日本評論社，2008年），『ジェンダーと人権』（日本評論社，2008年），*International Perspectives on Gender Equality and Social Diversity* (Tohoku University Press, 2008, ed.), 『憲法とジェンダー』（有斐閣，2009年），『多文化共生社会のジェンダー平等』（東北大学出版会，2010年，辻村みよ子・大沢真理編），『フランス憲法と現代立憲主義の挑戦』（有信堂，2010年），『ジェンダーと法（第2版）』（不磨書房，2010年），『比較憲法 [新版]』（岩波書店，2011年），『憲法理論の再創造』（日本評論社，2011年，辻村みよ子・長谷部恭男編），『新版憲法判例を読みなおす』（日本評論社，2011年，樋口陽一・山内敏弘・辻村みよ子・磯川恒正著）